

2026 年 10 月 30 日

お客様各位

PSP 株式会社

PHP の脆弱性に対する当社サービスの対応状況について

拝啓

お客様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当社の医療機関向けサービスをご利用いただき、厚く御礼申し上げます。

2026 年 10 月 21 日（日本時間）に公表されましたスクリプト言語「PHP」の重大な脆弱性（CVE-2026-109618 / CVE-2026-109619）につきまして、当社の対応状況およびお客様への影響について以下の通りご報告申し上げます。

敬具

記

1. 対象となる脆弱性の概要

The PHP Group より、PHP の特定バージョンにおいて認証なしでリモートから任意のコードが実行可能となる重大な脆弱性が公表されました。

- 識別番号（CVE）：CVE-2026-109618、CVE-2026-109619
- 深刻度評価：CVSS v4.0 基本値 9.2（Critical）
- 公式修正版：PHP 8.2.35、8.3.36、8.4.27、8.5.12

2. 当社における対応経緯および現在の状況

当社システムの PHP 利用状況の棚卸しと影響調査を現在実施しております。当社システムはアクセス制限された環境ですので、喫緊の脅威レベルは極めて低いと判断しております。

現在の対応状況は以下の通りです。

対象領域	対応ステータス	詳細内容
NOBORI データセンター (アクセス制限された環境)	【対応中】 詳細精査・棚卸し中 →棚卸完了	10 月 21 日日中の予告情報受領後、直ちに PHP 利用箇所の緊急棚卸しを実施。一部システムにおいては PHP 公式修正版のリリース直後（10 月 21 日深夜）にパッチ適用を完了し、サービスの正常動作を確認いたしました。それ以外については外部攻撃から遮断されているため喫緊の脅威レベルは極めて低い状態ですが、確認され次第速やかに対処を進めます。
医療機関内システム (アクセス制限された環境)	【対応中】 詳細精査・棚卸し中 →棚卸完了	院内 PACS/Viewer/Report 等における PHP 利用状況の棚卸しと影響調査を、製品管理台帳に基づき順次進めております。外部攻撃から遮断されているため喫緊の脅威レベルは極めて低い状態ですが、確認され次第速やかに対処を進めます。
当社ホームページ関連 (インターネット接続環境)	【対応中】 PHP 利用環境については修正版適用・検証済 →復旧済み	PHP 公式修正版のリリース直後（10 月 21 日深夜～22 日）にパッチ適用を完了し、サービスの正常動作を確認いたしました。 https://www.psp.co.jp に関しましては、利用しているサービス事業者による PHP 脆弱性緊急メンテナンスのため 10 月 22 日 21 時から停止しておりましたが、10 月 23 日 12 時 30 分よりメンテナンスページとさせていただきます。→同日 19 時復旧済み

3. 現在の状況について

ログ監視・セキュリティ監視を常時実施しておりますが、現時点で不審な通信や不正侵入がないことを確認しております。

4. 今後の対応方針

当社システムはアクセス制限された環境ですので、喫緊の脅威レベルは極めて低いと判断しておりますが、医療機関内のシステムに関しても対策は続けてまいります。ご施設ごとに構成が異なりますので、個別に連絡させていただきます。

以上